

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	川崎市多摩スポーツセンター	評価対象年度	平成27年度
事業者名	株式会社多摩オールフラッツ	評価者	地域振興課長
指定期間	平成22年12月1日～平成33年3月31日	所管課	多摩区役所 地域振興課

2. 事業実績

利用実績 (単位:人)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	30,911	44,119	32,353	45,866	29,880	38,381	46,552	33,947	33,604	31,598	35,534	37,140	439,885	
収支実績 (単位:千円)			予算		決算		差額							
	収入	指定管理委託費	137,770	137,675	△95									
		利用料金収入	68,815	76,826	8,011									
		事業収入	62,971	75,392	12,421									
		雑収入	8,840	10,624	1,784									
		収入計	278,396	300,517	22,121									
	支出	管理運営費	170,963	195,552	24,589									
		光熱水費	49,950	45,201	△4,749									
		保険料	1,016	1,231	215									
		その他	23,975	15,106	△8,869									
支出計		245,904	257,090	11,186										
収支差額	32,492	43,427	10,935											
サービス向上の取組	<p>◇快適に施設を利用いただくため、メインエントランスへのシューズボックス増設に引き続き、サブエントランスへもシューズボックスを増設し、来館者の増加に対応した。また、夏季におけるプール更衣室等での室温上昇対策のため、サーキュレーターや扇風機を新たに設置するなど、利用環境の向上に取り組んでいる。</p> <p>◇利用者が使用するスポーツ備品などの施設内備品について、日点検を強化し、老朽化したものや故障品などをいち早く発見し、修理及び交換作業を迅速に行っていることから、常に良好な施設環境を提供している。</p> <p>◇テニスコートのナイター利用での時間点灯や野球場での天候によるグラウンドコンディション不良の場合の無料キャンセルなど、引き続き臨機応変に利用者要望に対応している。</p> <p>◇利用券の現金購入の不便さを解消する取組として、繰り返し使用できるチャージカード(1,000円)と10回分の料分で11回利用できる回数券を設定しているが、開館5年を迎え回数券での施設利用者が前年比115%となっており、着実にリピーター定着に繋がっている。</p> <p>◇安全・安心な施設を常に利用者へ提供するため、従業員を対象とした火災や地震を想定した避難訓練、不審者対策の防犯訓練、プールでの事故を想定した救助訓練、また急病人等の対応としての救命講習会の受講を定期的の実施し、不測の事態に備えている。</p> <p>◇自由提案事業として巡回バスを運行(小田急線生田駅・JR南武線中野島駅の2ルート)、平成24年度から中野島駅ルートについて京王線稲田堤駅前を加えるなどの変更を行い、継続して利用者の利便性向上を図っている。</p>													

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階 (加点割合)	評価点
総合的な運営状況	基本方針	公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割や目的を果しているか。	5	4(0.8)	4
	事業成果	事業実施による成果の測定・検証が適切に行われているか。	5	4(0.8)	4
	(評価の理由)	<p>◇基本方針に基づき、快適な利用環境と公平・平等な利用を確保しながら、市民サービスの向上に努めているとともに、事業計画に基づいた施設の運営がなされている。</p> <p>◇維持管理・運営業務について、セルフモニタリングを実施し、自己評価を行うことで業務の品質維持と向上に努めている。</p> <p>◇利用者アンケート・ご意見箱の設置等を実施して、利用者からの意見・要望を事業へ反映できるよう努めている。</p> <p>◇利用者数が439,885人(前年比102%)となり、開館からこれまで順調に利用者数が増加していることから、これまでの様々な取組の成果と評価できる。</p> <p>◇行政や地域の出張講座への指導者派遣を26年度から実施し、27年度においても継続して実施していることから、館外活動にも積極的に取り組んでおり、地域連携の分野で社会体育施設としての役割を果たす取組と評価できる。</p>			
管理業務の実施状況	維持管理等の再委託	施設利用提供に支障をきたすことの無いよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	休日・開館時間	安全で適正な管理運営を確立するとともに、利便性や利用サービスの向上に留意した施設提供を行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用料金	公平性・平等性及び受益者負担について留意し利用料金の設定を行うとともに、利用者の利便性や利用サービスの向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
	諸施設の活用と提供サービス	効果的な諸施設の活用及び提供サービス(飲料・補食品の販売を含む)の向上を図っているか。	5	3(0.6)	3
	個人情報保護や情報公開	個人情報の保護や情報の公開を適切に行っているか。	5	3(0.6)	3
	利用促進	施設の利用促進に向けた取り組みが成されているか。	5	4(0.8)	4
	人員配置	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備され、円滑な施設運営に必要な人員配置(資質・ローテーション等)を行っているか。	5	3(0.6)	3
	職員研修	各種研修等を行うなど、人員の資質の向上を図っているか。	5	4(0.8)	4
危機管理	利用者の安全の確保及び有事の際の適切・迅速な対応のための危機管理体制がとられているか。	5	3(0.6)	3	
	(評価の理由)	<p>◇利用券の現金購入の不便さを解消するためのチャージカードや1回分お得な回数券の設定により、利用者の利便性及びサービス向上の取り組みを行っている。</p> <p>◇平成27年度の利用者数は前年度に比べ10,192人増加し、約2%の増加率となっている。また、利用者アンケートの内容や回数券利用者の増加等によりリピーターの数も着実に増えていることが推測されることから、開館から順調に運営されており、これまでの利用促進に向けた様々な取組の成果と評価する。</p> <p>◇利用者アンケートの実施において、教室利用者アンケートに加え、新たな手法により施設設備やサービスへの評価及び満足度調査を実施するなど、利用者ニーズの把握に努めている。</p> <p>◇従業員を対象とした火災や地震を想定した避難訓練、不審者対策の防犯訓練、プールでの事故を想定した救助訓練、急病人等の対応としての救命講習会、接遇研修の受講を定期的・継続的に実施しているとともに、新たに認知症サポーター養成講座を受講するなど全従業員の資質及び技能向上に努めている。</p>			

事業実施状況	施設利用提供業務	生涯スポーツ振興を図るための施設利用提供を行っているか。	5	4(0.8)	4
	個人開放事業	生涯スポーツ振興を図るための個人開放事業(トレーニング室を含む)を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	教室等事業	生涯スポーツ振興を図るためのスポーツ教室やイベント等事業を実施しているか。	5	4(0.8)	4
	スポーツ情報提供及び相談業務	生涯スポーツ振興を図るための情報の提供及び相談業務等を行なっているか。	5	3(0.6)	3
	指導者・ボランティアの育成	地域スポーツ指導者の育成やボランティア等の育成のための事業を実施しているか。	5	3(0.6)	3
	総合型地域スポーツクラブの支援	総合型地域スポーツクラブの活動支援を行っているか。	5	3(0.6)	3
	自主事業に関する事項	利便性やサービスの向上のための自主事業等を実施しているか。	5	4(0.8)	4
(評価の理由)					
<p>◇3回目となる「多摩区スポーツフェスタ」の開催にあたっては、実行委員会での内容検討から参加し、施設の提供に留まることなく、メイン会場としての運営や担当開催種目の実施(14種目)等、第1回の開催から円滑な事業の実施に多大な貢献をしていることは高く評価できる。</p> <p>◇トレーニング室の運営事業については、利用者要望により室内で放映しているストレッチ映像を最新版に見直したことや、トレーニング機器の日頃のメンテナンスの徹底や最新機器との入れ替えなど、利用者満足度の向上に取り組んでいる。</p> <p>◇スポーツ教室事業については、短期及び特別事業も含め、幼児から高齢者、障がい者などを対象にした幅広い教室(約60種目)の企画運営がされていること、人気教室の増設や土曜日開催教室の開講など、利用者ニーズに応える内容を提供していることで、教室受講者が増えていることは評価できる。</p> <p>◇スポーツ教室事業受講者数においては、平成26年度の延べ約6万8千人の受講者に対して、平成27年度は延べ7万4千人の受講者があり、約6千人の利用者増であった。</p> <p>◇小田急線田駅とJR南武線中野島駅・京王線稲田堤駅を結ぶ2ルートの巡回バスを運行している。平成24年度から中野島駅ルートについて京王線稲田堤駅前をルートに加えるなどの変更を行い、利用者の利便性向上に継続して取り組んでいる。</p>					
収支状況	安定性	収支計画に基づく安定した運営を行っているか	5	4(0.8)	4
	効率性	サービスの維持・向上に留意した上で効果的・効率的な予算執行が図られているか。	5	3(0.6)	3
(評価の理由)					
<p>◇これまで継続して利用者サービスの向上に取り組んでいることから、個人利用者・教室参加者がともに増加しており、増収に繋がっている。</p> <p>◇収支において、開館以来これまでも継続して計画的に安定した運営が行われており、今後も同様に安定した経営が見込まれる。</p>					

#### 4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<p>今回の事業評価は6年次目の評価となるが、平成22年度は屋外施設のみでの運営であり、屋内施設を含めた運営は平成23年度からとなっている。</p> <p>施設の運営に関しては、公の施設としての理念を尊重し、社会体育施設としての役割を果たすように努めていると評価する。</p> <p>特に平成27年度の利用者数は平成26年度に比べ10,192人増加し、約2%の増加率となっており、利用者アンケートの結果や回数券利用者の増加等によりピーターの数も増えていることが推測されることから、開館から順調に運営されており、これまでの利用促進に向けた様々な取組の成果と評価する。</p> <p>評価内容としては次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のスポーツ振興を担う施設としてスポーツ活動の場を提供するとともに、スポーツ教室事業については、幼児から高齢者、障がい者などを対象にした幅広い教室の企画がされていること、人気教室の増設や土曜日開催教室の開講など、利用者の要望に応える内容を提供し積極的な事業展開を図っていることから教室受講者の増加に繋がっている。</li> <li>・3回目となる「多摩区スポーツフェスタ」の開催にあたっては、実行委員会での内容検討から参加し、施設の提供に留まることなく、メイン会場としての運営や担当開催種目の実施(14種目)等、第1回の開催から円滑な事業の実施に多大な貢献をしている。</li> <li>・従業員を対象とした火災や地震を想定した避難訓練、不審者対策の防犯訓練、プールでの事故を想定した救助訓練、急病人等の対応としての救命講習会、接遇研修の受講を定期的・継続的に実施しているとともに、新たに認知症サポーター養成講座を受講するなど、全従業員の資質及び技能向上に努めている。</li> <li>・自由提案事業として、開館以降巡回バスを運行しており、継続して利便性やサービスの向上を図り、利用者に配慮した施設運営に努めている。</li> <li>・近隣小学校の水泳授業に施設を提供し、学校と連携して施設の有効活用を図るなど、地域との連携にも努めている。</li> <li>・温水プールの水抜き清掃に合わせて、着衣泳の体験と救助講習会を実施するなど施設を活かした研修会等を毎年実施している。</li> <li>・行政や地域の出張講座への指導者派遣を26年度から実施し、27年度においても継続して実施していることから、館外活動にも積極的に取り組んでおり、地域連携の分野で社会体育施設としての役割を果たす取組と評価できる。</li> <li>・利用者アンケートの実施において、教室利用者アンケートに加え、新たな手法により施設設備やサービスへの評価及び満足度調査を実施するなど、利用者ニーズの把握に努めている。</li> </ul>
--

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<p>市民の誰もが地域で気軽にスポーツを楽しめるスポーツの拠点として、スポーツを通じてのまちづくりと、市民の健康、体力の維持・増進やスポーツ事業の推進、生涯スポーツの振興を図るよう、これまで同様に努めること。</p> <p>また、公平で平等な利用の確保と経済性にも留意しながら、公共性と効率性の両立を目指すよう努め、サービス水準の向上と効率的な管理運営に引き続き努めること。</p> <p>開館以来、毎年利用者数が増加しており、中でも回数券利用や教室参加者の増加、利用者アンケートの結果から着実に地域のスポーツ施設として認知されてきていることから、今後においても施設外に目を向け、地域活動への貢献や施設のPR活動に積極的に取り組むこと。</p> <p>利用者アンケートの結果を的確に分析し、常に利用者ニーズの把握に努め、提供するサービス水準の向上に取り組むことはもちろん、日頃の施設メンテナンスにも重点を置き、施設利用に支障が出ないよう、また利用者の安全を最優先とした施設の運営・維持管理を行うこと。</p>
--